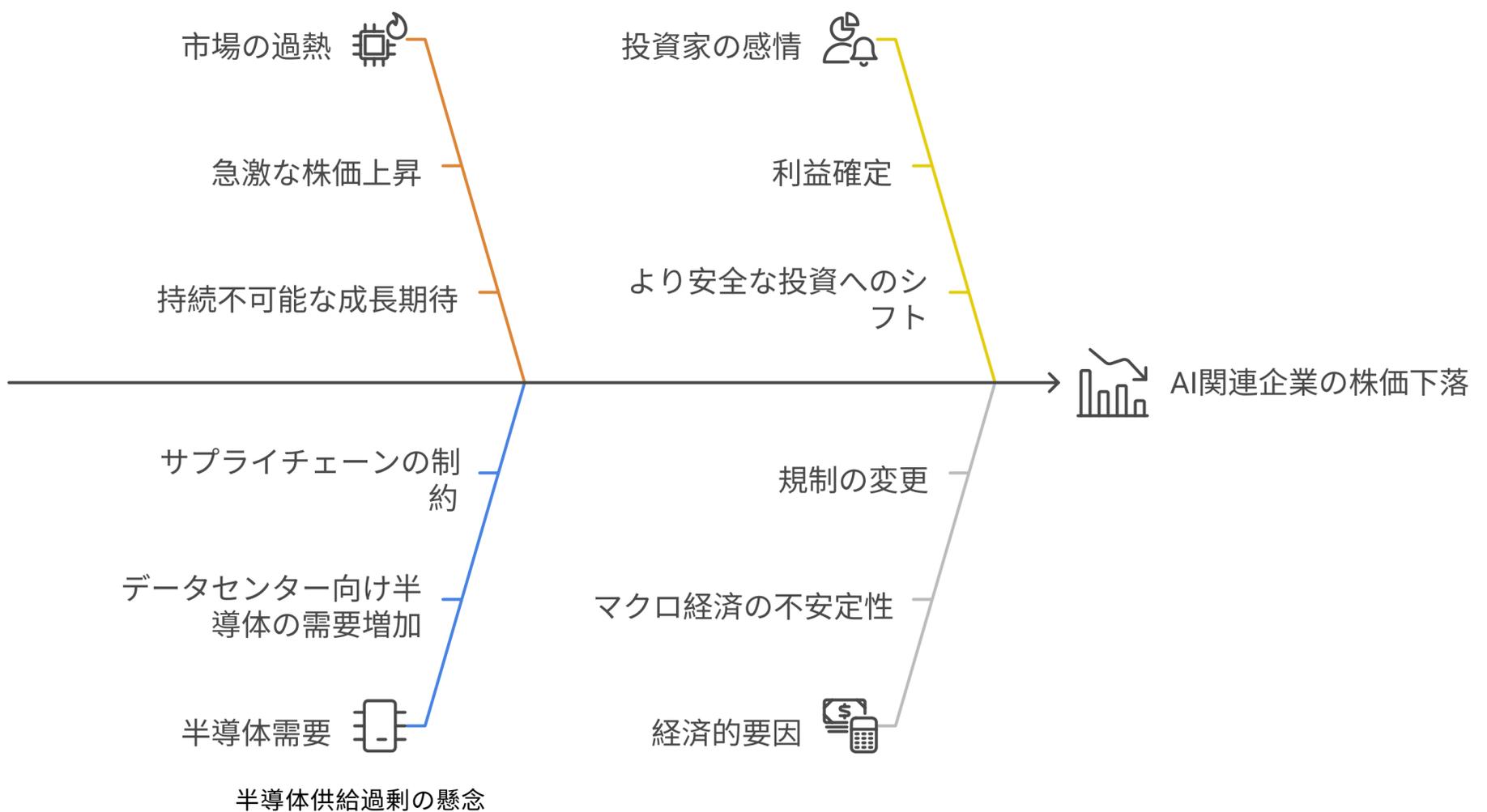


AI関連企業の株価が下がり続けている原因は具体的に何ですか？

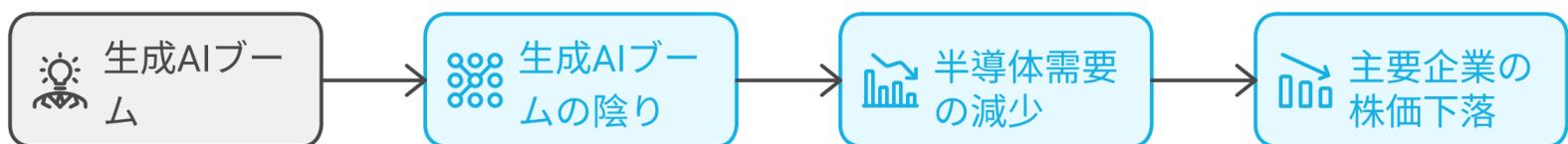
AI関連企業の株価が下がり続けている原因は複数の要因が絡み合っています。以下に具体的な原因を挙げ、それぞれについて詳しく説明します。
市場の過熱感と調整局面

AI関連企業の株価は、特に2023年から2024年にかけて急激に上昇しました。この急上昇は、生成AI（人工知能）ブームやデータセンター向けの半導体需要の増加によるものです。しかし、急激な上昇は市場に過熱感をもたらし、調整局面が訪れることが予測されていました。エヌビディア（Nvidia）の株価収益率（PER）が業界平均を大きく上回る67倍に達しており、これは実態に即していないと指摘されています¹⁷。

AI関連企業の株価下落の原因

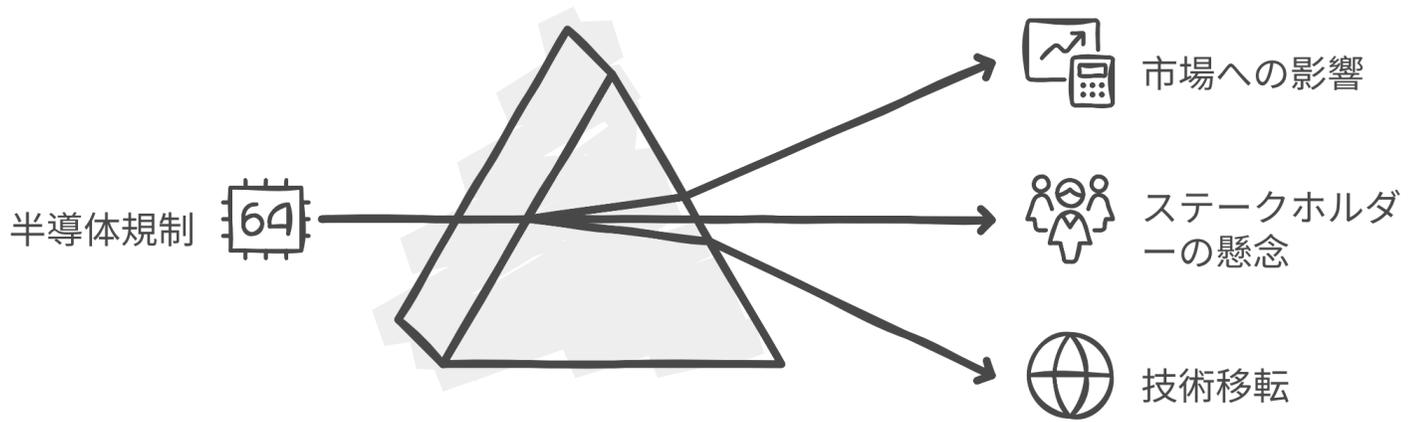


半導体市場全体で供給過剰に陥るリスクが懸念されています。特に、生成AIブームの陰りが意識される中で、半導体需要が減少する可能性があります。これにより、エヌビディアなどの主要な半導体企業の株価が大幅に下落しました¹⁶。



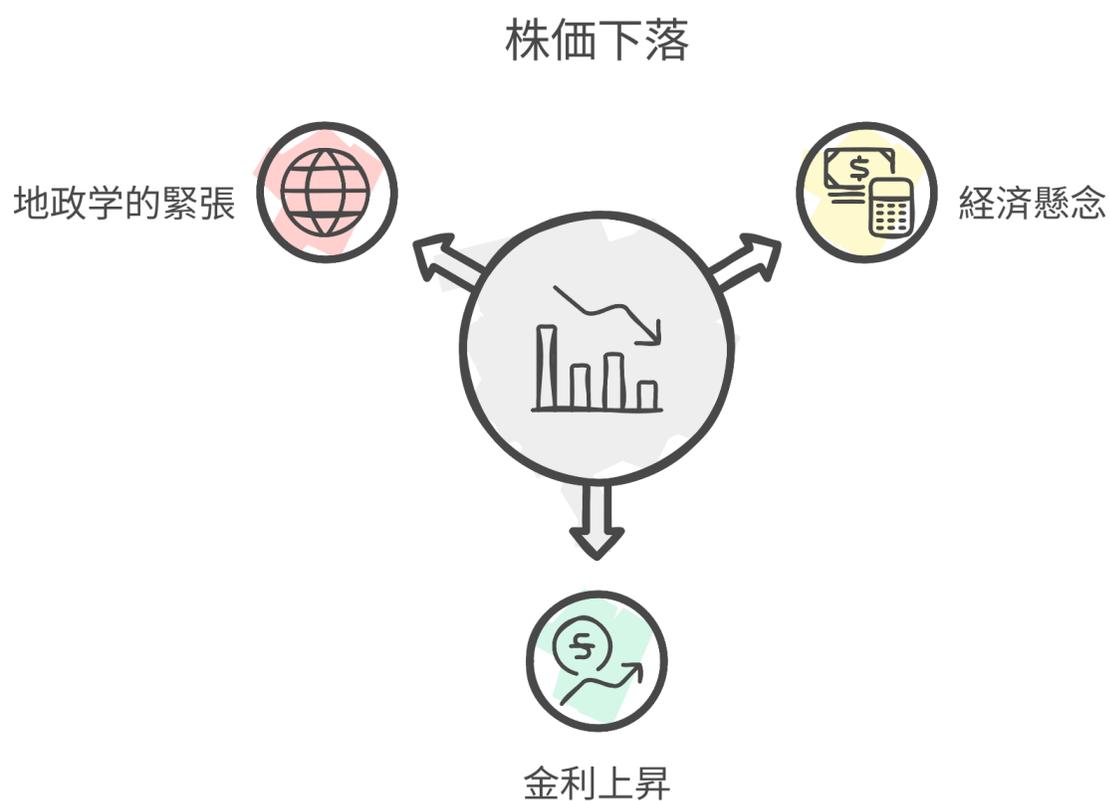
米国の対中半導体規制

米国が対中半導体規制を厳格化するとの報道も影響しています。バイデン政権は、日本やオランダに対して中国への先端半導体技術の提供を制限するよう警告しており、これが市場全体に不安をもたらしました。この規制強化は、エヌビディアやアドバンスト・マイクロ・デバイス（AMD）などの米国半導体関連株にも影響を与えました²⁰。



マクロ経済要因

米国の景気先行き懸念や金利上昇も株価下落の一因です。特にFRB（連邦準備制度理事会）の高官から利下げ先延ばしの発言が相次ぎ、市場心理を悪化させました。また、中東情勢の緊張や原油価格高騰も影響しています¹⁹。



投資家心理と資金流出

投資家心理が悪化し、テクノロジー銘柄から資金が流出しています。特にAI関連企業への集中投資が巻き戻される動きが見られます。これまで好調だったテクノロジー銘柄への投資が減少し、その結果として株価が下落しています¹⁸。

投資家はテクノロジー銘柄から資金を引き続き引き上げるべきか？



まとめ

AI関連企業の株価下落は、市場の過熱感と調整局面、半導体供給過剰の懸念、米国の対中半導体規制、マクロ経済要因、および投資家心理と資金流出など複数の要因が絡み合って引き起こされています。これらの要因は短期的な影響だけでなく、中長期的にも市場動向に影響を与える可能性があります。